

第13回
ひろしま街づくり
デザイン賞

13th URBAN
DESIGN
AWARD
HIROSHIMA

URBAN
DESIGN
AWARD
HIROSHIMA



第13回ひろしま街づくりデザイン賞

部門賞 学校法人広島聖公会学園 聖モニカ幼稚園ホール棟（建築物・工作物部門）



- 所在地 / 西区井口鈴が台三丁目 17 番 21 号 ●施主 / 学校法人広島聖公会学園
- 設計者 / 遠藤 吉生、遠藤 由美子 ●施工者 / 有限会社アルフ ●概要 / 幼稚園（多目的ホール、保育室） 鉄骨造平屋建 建築面積および延床面積：236.18 m² ●完成時期 / 平成 20 年 9 月
- 選考理由 / 天然素材の木材を屋根や外壁に使用した、ぬくもりのある環境にやさしい幼稚園で

ある。限られたスペースの中で、敷地の高低差を上手に活用した園庭から屋上へのウッドスロープは、子どもたちにとって格好の遊び場であり、建物を遊具化させたアイデアが素晴らしい。子どもの視点に立った、子どもの夢を大切にしている楽しくなる建物である。

部門賞 曹洞宗 八屋山 普門寺 庫裏 (建築物・工作物部門)



- 所在地 / 中区大手町三丁目 5 番 5 号 ●施主 / 普門寺 ●設計者 / 株式会社古本建築設計
- 施工者 / 株式会社共立 ●概要 / 門徒会館・庫裏 鉄筋コンクリート造 3 階建
- 建築面積 : 221.95 m²、延床面積 : 472.54 m² ●完成時期 / 平成 23 年 7 月
- 選考理由 / 銅版葺や縁甲板などの伝統的な素材と、コンクリートやスチール、ガラスといった

現代的なマテリアルを組み合わせ、伝統美を残しつつ現代風にアレンジし、中心市街地に趣きのある憩い空間を演出している。枝垂れ桜のある境内に向けて開放的な各部屋は、料理教室などに活用され、まさに地域に開かれたお寺である。

部門賞 回廊の家（個人住宅部門）



●所在地 / 中区国泰寺町二丁目 ●施主 / 乗末 清貴 ●設計者 / 一級建築士事務所北村彰朗建築設計
●施工者 / 株式会社 池芳工務店 ●概要 / 併用住宅 鉄筋コンクリート造 2階建 建築面積：175.71㎡
延床面積：286.61㎡ ●完成時期 / 平成23年1月 ●選考理由 / 街中という敷地を最大限有効利用したい環境の中で、交差点の隅切り部分を大胆にセットバックさせ、緑地として開放しており、周辺環境への

配慮が感じられる。外観は、コンクリートと木が優しく調和し、オフィス街の無機質な街並みに新たな風景を創り出している。内部空間は、周囲の喧騒からのがれ、高層建物からのプライバシーを確保し、外観とは対照的な開放感と都心とは思えない静寂を感じる異空間を創り出している。個人住宅でありながら、その存在感は大きく、周辺の街並みに馴染みと潤いを与えている。

部門賞 馬木の家（個人住宅部門）



●所在地 / 東区馬木九丁目 ●施主 / 安部 隆之 ●設計者 / 宮森洋一郎建築設計室
●施工者 / 河井建設工業株式会社 ●概要 / 専用住宅 木造一部鉄筋コンクリート造 2 階建
建築面積：104.73 m² 延床面積：153.95 m² ●完成時期 / 平成 24 年 1 月
●選考理由 / 住宅地の狭い限られた空間の中で、前面道路への圧迫を軽減させるため、道路側の

建築高を抑えることにより、周辺の街並みに溶け込ませている。内部は、中庭を設けることにより、道路からの視線を上手に遮断しながら、居住空間に開放感をもたらす工夫が感じられる。斜面地形の敷地に対する新しい解決策である。

部門賞 医療法人社団清風会 五日市記念病院（緑化部門）



●所在地 / 佐伯区倉重一丁目 95 番地 ●施主 / 医療法人社団清風会 五日市記念病院
●造園設計・施工者 / 山岡晩翠園 ●概要 / 病院 鉄筋コンクリート造 敷地面積：10,464.79 m²
建築面積：1,804.37 m² 延床面積：9,788 m² 緑化面積：992 m² ●完成時期 / 平成 18 年 12 月

●選考理由 / 病院という緑化が難しい環境の中で、敷地内を最大限活用し、患者や訪れる人たちに憩いと潤いを与える緑地を整備している。季節によって表情を変える緑地帯は、よく手入れされており、これからの病院における緑化の望ましいあり方を示している。

部門賞 広島女学院中学高等学校高校校舎（街並み部門）



●所在地 / 中区上鞆町 11 番 32 号 ●施主 / 学校法人広島女学院 ●設計者 / 株式会社レーモンド設計事務所 ●施工者 / 五洋建設株式会社 中国支店 ●概要 / 教育施設 鉄筋コンクリート造 4 階建 建築面積 : 1904.51 m² 延床面積 : 6711.38 m² 太陽光発電 (太陽光パネル 144 枚) 設置 (屋上) ●完成時期 / 平成 21 年 12 月

●選考理由 / ガラスウインドーとヒノキに囲まれた校舎は、周囲の景観に良く馴染んでおり、街並みに落ち着きを与えている。特に、窓の下の無垢のヒノキ材により、木の質感を感じさせ、温かみのあるやさしい建物として、周辺環境に潤いと安らぎを与えている。また、西面のステンドグラスが街並みの良いアクセントにもなっている。

部門賞 安の花田植の再現（まちづくり活動部門）



●活動地域 / 安佐南区安地区 ●活動団体（代表者） / 安の花田植実行委員会（委員長 寺尾一秀）
●活動内容 / 「安の花田植」は、寛政年間（1797～1799年）頃から途中で途絶えたこともあったが1959年（昭和34年）までの約200年間安地区で行われていた。この花田植を再現するため社会福祉協議会等の地域団体により「安の花田植実行委員会」を結成し、平成18年に第1回の再現花田植えを行った。その後、毎年開催し平成24年に第7回を迎え多くの来場者に楽しん

でいただいている。●選考理由 / 昭和34年までの約200年間、安地区で盛んに行われていた、郷土文化「安の花田植」を再現し、まちづくりに生かしている。大都市の住宅地で行われる伝統的活動はインパクトがあり、地域活性化の一翼を担っている。子どもたちの社会勉強の場にもなっており、歴史あるまちの誇りを生み出す魅力ある活動である。

部門賞 似島学園 高等養護部 (水の都ひろしま部門)



●所在地 / 南区似島町長谷 1487 番地 ●施主 / 社会福祉法人 似島学園 ●設計者 / 宮森洋一郎
建築設計室 ●施工者 / 河井建設工業株式会社 ●概要 / 福祉型障がい児入所施設 鉄筋コン
リート造一部 鉄骨造 2 階建 建築面積 : 1,145.27 m² 延床面積 : 1,782.88 m²
●完成時期 / 平成 22 年 4 月

●選考理由 / 海に開かれた開放的な児童福祉施設である。コの字型に配置された建物は、どの部
屋からも海を臨むことができ、海が庭のように感じられるほど施設と海とが一体化している。
周辺には緑も多く、子どもが自然と触れ合える心落ち着く空間を創出している。

部門賞 広島環境サポーターネットワークによる環境保全活動（環境にやさしい街づくり部門）



●活動地域 / 広島市内 ●活動団体（代表者） / 広島環境サポーターネットワーク（代表 岡田 勲）
 ●活動内容 / 平成7年12月、広島市環境局が主催した「広島市環境サポーター養成講座」を修了した人たちが集まり、広島環境サポーターネットワークは発足した。目的は、環境活動への市民の関心を高めること。行政と協働して環境イベントを開催したり、自然環境の継続保全活動や公民館、小学校での環境講座など、市民に分かりやすい手法で環境普及啓発を行っている。 ●選考理由 / 森林、河川、海洋、生活、

国際交流の5つの部会がそれぞれの分野で環境保全活動に取り組んでおり、環境にやさしい街づくりに大きく貢献している。中でも、「広島地球ウォッチングクラブ」での、自然の大きさを伝える体験型自然環境学習会や、「環境の日」ひろしま大会などの環境イベントを通じての啓発活動は、環境に対する市民意識の高揚につながっており、この活動が果たしてきた役割は大きい。

部門賞 祇園の家 (建築物の3R(リデュース・リユース・リサイクル) 部門)



施工前



●所在地 / 安佐南区祇園五丁目9番16号 ●施主 / 宮本 三枝子 ●設計者 / TOM 建築設計事務所
所 古家 智之 ●施工者 / 有限会社沖村工務店 ●概要 / 専用住宅 木造2階建
建築面積 : 207.49㎡ 延床面積 : 262.21㎡ ●完成時期 / 平成21年10月

●選考理由 / 既存の大きな梁を上手に活用し、再び家族が集まる魅力的な家として再生している。
建築物の再生のみならず、家具類などの先祖の思い出の品まで再生しており、古いものを見直す
というメッセージ性が感じられる、温かみのある古民家再生事業である。

部門賞 広島かき殻再利用プロジェクト（街づくり提案部門）

広島かき殻再利用プロジェクト



提案

生産量日本一である広島かきはどうしても殻が残ってしまいます。これまでかき殻は埋め立て処分や海あるいは河川に捨てられていたそうですが、最近では捨てられるかき殻が注目され、再利用に取り組む会社がたくさんあります。そこで、かき殻の再利用を広島街づくりに貢献できないかと考えました。

かき殻の隠されたパワー

かき殻は高温で焼かれると、炭酸カルシウムの一部が酸化カルシウムに変化します。その成分がヘドロ中の有害物質である硫化水素を中和し、ヘドロを浄化するということが広島大学大学院生物圏科学研究所で実証されました。ほかにも、かき殻は、カルシウムを主成分とすることから、土木・建築分野をはじめ医療分野など、様々な分野への活用が考えられています。

アピール

かき殻再利用による街づくりを多くの人に知ってもらうために、アピールが必要です。例えば、かき殻肥料の菜園・花壇に札をたてたり、広島かきのキャラクターによる呼びかけをする子供たちの意識するようになります。

広島かき殻再利用プロジェクト

かきから



ロゴマーク
立て札、製品などに
活用できます

広島かきの殻を広島のみちづくりに取り入れることによって広島かきのPRになり、広島に住む人のまちづくりの意識が高まるのではないかと考えます。私たちの大好きな広島をもっとよりよい場所にするために、生産量日本一である広島にしかできない街づくりを提案します。

取り組み内容と実際に取り組んでいる会社

- ・水の浄化
- ・排水再利用
- ・肥料化
- ・洗浄・除菌・殺菌・脱臭
- ・食品の鮮度保持など
- ・防カビ、防臭
- ・食品添加物など
- ・石炭化
- ・バイオマスプラスチック化
- ・マット材
- ・舗装

- ・「ダブルクリーン」株式会社 社大西
- ・「ダブルクリーン建設」山崎建設
- ・「アクアメイクリシステム」永和国土環境株式会社
- ・「肥料」トヨタ産業株式会社（広島県福山市）
- ・「有機質肥料」株式会社広島造園（広島県広島市）
- ・「天然水素」有限会社 冠子工業
- ・「有機質ナノパウダー」広島県商工会青年部（広島市）
- ・「瀬戸内の暮らし」有限会社 新栄堂（広島県江田島）
- ・「バイオマスプラスチック製造事業」株式会社豊内屋
- ・「ゼロエミッション・ロード」山治工事業務所

1. かき殻を使った異種舗装技術
2. 舗装用アスファルト混合物としての利用技術（1と2は（株）本間組・本間建設（株）の共同開発）
3. かき殻を利用した屋上緑化

◎は（株）本間組、本間建設（株）、（株）本間建設の共同開発



広島に取り入れる

広島かき殻再利用プロジェクト

かきから

広島かきの殻の再利用による街づくり
かきからの恵みを活用し
広島をよりよくなるためのプロジェクト

活動

- ・河川の浄化
- ・排水再利用
- ・肥料化による菜園、花壇
- ・バイオマスプラスチック化
- ・舗装

etc...

●提案者 / 廣秋 優里（基町高校） ●提案内容 / 生産量日本一である広島かきの殻を再利用し、広島街づくりに取り入れる提案 ●提案意図 / 生産量日本一である広島のかきは大量の殻が排出されます。最近では、このかき殻を資源として再利用しさまざまな活動や開発に取り組む会社も多くあります。その取り組みを広島のみちづくりに取り入れることで、広島に住む人もまちづく

りの意識向上と、広島かきのPRになると考えました。 ●選考理由 / 広島ならではの意義ある提案。かき殻の再利用によるゴミの削減とかきの多角的活用により、波及効果が広く期待できる。かき殻利用をアピールするためのロゴも高校生らしいかわいらしいデザインとなっており、親しみやすく、内容や表現力などのトータルクオリティも高い。

部門賞 学校農園プロジェクト（街づくり提案部門）

学校農園プロジェクト

学校の校舎の屋上を
市民農園として緑化

■屋上を農園として緑化する理由

このプロジェクトは、市の公立学校の屋上を農園として緑化し、そこで生徒や地域の人々が植物の世話をを行う、というものです。

市民農園・菜園は広島市中心部にはなく、市中心部に住む人々が気軽に農作にかかわることができる機会は少ないものとなっています。そんな中で近年、マンションやビルの屋上が市街地での緑化に利用されることが増えています。

建物の屋上を農園として緑化をすることで、市の中心部に住む人たちが気軽に農作を楽しみ、ありのままの緑を楽しむことができます。また、地球温暖化の抑制効果も期待できます。

■なぜ学校で？

屋上緑化の利点は、夏の室温の上昇抑制・省エネルギー効果・身近な環境教育の場の創出など、目に見える数値としてのメリットだけでなく、精神的にも多くのメリットがあります。

身近な環境教育の場としての屋上緑化に最も適しているのは学校の校舎の屋上です。学校では子供たちが日々多くの時間を過ごしています。またその校舎は平らで、屋上は農園として役割を果たすのに十分な面積を持ちます。

■期待できる効果

学校のカリキュラムの中で、子供たちが植物の世話を継続的に行うことによって、ものを一から育て上げることの大変さを学び、整備された街路樹や花壇とはまったく違う本来の自然にふれることができます。

地域の人々に市民農園として区画を提供することで、開かれた学校のイメージが生まれ、より地域に密着した学校への変化も期待できます。

また、地域の人々と交流すること、生徒間で協力することは、社交性・コミュニケーション能力を高めることにもつながります。



●提案者 / 向田 紗希（基町高校） ●提案内容 / 小・中・高校の校舎屋上を農園として緑化する提案 ●提案意図 / このプロジェクトは、あまり活用されていない学校の屋上を農園として緑化し、そこで生徒や地域の人々が植物や農作物などの世話を行なうというものです。生徒たちが植物や農作物の世話をすることで、豊かな人間性の形成、環境への関心・知識の向上に繋がります。

す。整備された街路樹や花壇とは違う、本来の自然に触れることが出来るでしょう。 ●選考理由 / 実現するためには多くの課題はあるが、都市部での緑化、ヒートアイランドの解決、農業学習、子どもと地域住民との交流など、環境だけでなく、教育や地域交流など、実現後の効果が大きい。学校だけではなく、ビルの屋上等への発展も期待でき、夢が膨らむ提案である。

「ひろしま街づくりデザイン賞」は皆さんが選ぶ景観賞です。

ひろしまの街は山、川、海の豊かな自然に囲まれ美しい街をつくる条件にめぐまれた環境にあります。広島市では、魅力ある街づくりを進めるために、平成6年度から「ひろしま街づくりデザイン賞」を実施しています。この賞は、市民の皆さんから、良好な景観の形成に貢献している建築物や看板、活動などを募集し、その中から優れたものについて表彰する制度です。平成12年度までは毎年実施していましたが、平成13年度から、募集から選考・表彰までを2カ年度にわたって実施しています。また、平成13年度の募集(第8回)から、特別表彰「水都ひろしま部門(第9回からは「水の都ひろしま部門」に変更)」を追加したほか、部門賞のほかに「奨励賞」を設けるなど、広島らしい魅力を創造している物件や活動を幅広く表彰できるようになりました。さらに、第10回から「夜景づくり部門」を追加し、第11回からは「環境にやさしい街づくり部門」及び「建材の再利用部門(第12回からは「建築物の3R(リデュース・リユース・リサイクル)部門」に変更)」を追加し、12回からは「個人住宅部門」及び「街づくり提案部門」を追加し、全11部門で募集を行っています。

賞の種類 次の11の部門があります。総合的にみて、特に優れたものは大賞として、また、部門賞の選外となったものについても、広島らしい良好な景観の形成に貢献すると認められるものは奨励賞として表彰します。

部 門	対 象	要 件
建築物・工作物	街並みに調和した、優れたデザインのもの 例:集合住宅、商業ビル、ホテル、改築・改装により魅力を増した店舗など	おおむね5年以内に完成したもの、又は改築・改装されたもの
個人住宅	街並みに調和した、優れたデザインの戸建住宅	おおむね5年以内に完成したもの、又は改築・改装されたもの
緑化	通りへの配慮がなされ、街に潤いを与えているもの 例:手入れの行き届いた住宅の生垣やビル周りの緑化、住宅・店舗のガーデニングなど	年数の要件なし
街並み	魅力ある街並みをつくり出しているもの 例:遊歩道、住宅団地、商店街、オープンスペースなど	年数の要件なし
サイン・アート	街角や建築物などのアクセントになるもの 例:街角の彫刻、景や仮囲いに描かれた絵、広告看板、ラッピングされた公共交通機関など	おおむね5年以内に完成したもの、又は改築・改装されたもの
まちづくり活動	地域住民など複数の人がかかわって行われている活動 例:地域の魅力を高めるイベント、環境美化・緑化活動など	おおむね5年以上継続しているもの
水の都ひろしま	川や海の水辺と調和したもの 例:水辺と調和した建築物や水辺を舞台とした活動など	建築物についてはおおむね5年以内に完成したもの、又は改築・改装されたもの 活動については年数の要件なし
環境にやさしい街づくり	地球温暖化防止、自然環境保全などの取組により、環境にやさしい街づくりに貢献するもの 例:建築物の屋上や壁面の緑化、太陽熱等のエネルギーの有効活用、自然との触れ合いの場を創出した活動など	建築物については、おおむね5年以内に完成したもの、又は改築・改装されたもの 活動については年数の要件なし
建築物の3R (リデュース・リユース・リサイクル)	長年使われ続けていることにより、建築廃材の発生抑制(リデュース)に貢献している建築物や建材を再使用(リユース)又は再生利用(リサイクル)した建築物など 例:昔ながらの魅力のある住宅や店舗、老朽化した建築物のリニューアル、建材を再使用・再生利用した建築物など	年数の要件なし
夜景づくり	明かりによる演出により、美しい夜景をつくり出しているもの 例:ライトアップされた建築物や樹木、住宅団地、商店街など	年数の要件なし
街づくり提案	「環境にやさしい街づくり」に貢献する提案 例:建築物や公共施設の緑化、老朽化した建築物等の再生などの提案	大学・大学院、専門学校、高等学校に在籍する学生及び生徒対象 提案をイメージ図等添付し、A2サイズ1枚程度にまとめて提案理由と一緒に提出

■ 応募の対象 広島市内で良好な景観の形成に貢献しているもの。ただし、建築関係法令などに適合していない物件、公共施設、これまでにひろしま街づくりデザイン賞を受賞したもの(受賞した部門以外への応募は可)は除きます。

■ 募 集 2年に一度、夏期から冬期にかけて募集します。区役所・区民文化センター・公民館などの広島市関連施設や大学、専門学校などの建築関係学科へのポスター掲示、リーフレット兼応募用紙の配布、広島市の広報紙やホームページでの掲載、市政記者クラブへの情報提供等を行っています。

■ 審査・発表 ひろしま街づくりデザイン賞選考委員会において審査・選考します。審査の結果は募集の翌年度(10月ごろ)に発表し、表彰式を行います。受賞された施主・活動団体・提案者には、表彰状と銘板又は盾を、設計者・施工者には表彰状を贈呈します。

■ 参 加 賞 応募いただいた方全員に、記念品と受賞物件などをまとめたパンフレットを差し上げます。

■ 応募方法 自薦・他薦は問いません。一人何点でも応募できます。応募用紙に必要事項を記入し、写真(データ、ネガでも可)等を同封し、郵送してください。
なお、電子メール(アドレス:urban-d@city.hiroshima.jp)でも応募できます。詳細は、ひろしま街づくりデザイン賞のホームページをご覧ください。
※受賞された物件や活動の写真は、広島市発行の刊行物や広報紙などに使用させていただくことがあります。

広島市長のこたば



広島市長
松井 一實

我がまち広島には、山、川、海といった恵まれた自然があり、歴史や文化を伝える魅力的な観光資源があります。これらに対する市民の多様な価値観を大切に、平和都市広島らしい「美しく品のある都市景観」を創るためには、どこの都市にでもある駅前や中心部の画一的な景色ではなく、広島ならではの都心のぎわいや、水辺空間でのやすらぎなどを感じてもらえる仕掛けをつくっていかねばなりません。

「ひろしま街づくりデザイン賞」は、こうした取組の一つであり、魅力ある街づくりを推進するため、市民の皆さんから、良好な景観の形成に貢献している建築物や活動などを募集し、優れたものを表彰するものです。

13回目となる今回は、226件の応募があり、9部門12件の部門賞が選定されました。いずれも周辺環境に配慮するとともに街に潤いを与える工夫に満ちあふれており、広島市の魅力を高める素晴らしい物件や活動ばかりで大変うれしく思っています。

今後とも、本市が目指す「世界に誇れるまち」の実現に向け、本賞を契機として、広島らしい個性と魅力ある景観の形成が一層進んでいくことを期待しています。

委員長の選考総評



選考委員会委員長
杉本 俊多

今年度の「ひろしま街づくりデザイン賞」では、建築物、住宅から街づくりまでを含む、計11部門を設け、自薦、他薦を合わせ、広く市民からの応募を募りました。そして計226件の応募物件について、現地視察を含む3回の選考委員会を開催して厳正に審査し、9部門12件の部門賞を選定するに至りました。惜しくも大賞を選ぶには至りませんでした。実に多様な応募があり、それぞれ個性的で魅力のあるものばかりでした。選考に苦労しましたが、各分野で識見を持たれる委員10名の間の活発な議論を経て、各部門賞の決定に至りました。

広島市はとりわけ自然景観に恵まれており、そこに穏やかで豊かな都市を営んできています。近年はとりわけ持続可能な都市環境づくりが大きなテーマとなってきていますが、そのためには市民のみなさんがごぞつてまちづくりに参画していただくことが必要です。とりわけ住宅部門からは多数の応募がありましたが、都心から郊外の斜面地、また街角の片隅で、それぞれ異なる場所の個性や条件を生かしながら、市民が都市景観向上のために心を込めた努力をされていることに感銘を受けました。また前回新設した街づくり提案部門には、今回、初めて高校生の二作品が選ばれましたが、まちづくり意識が継承されていき、「ひろしま街づくりデザイン賞」が広島市をより一層魅力的な街にして行くことに貢献することを期待いたします。

応募期間

平成23年(2011年)10月1日(土)～12月25日(日)(街づくり提案部門については～平成24年(2012年)2月29日(水))

応募件数

建築物・工作物部門	48件
個人住宅部門	34件
緑化部門	16件
街並み部門	15件
サイン・アート部門	16件
まちづくり活動部門	12件
水の都ひろしま部門	9件
環境にやさしい街づくり部門	12件
建築物の3R(リユース・リサイクル)部門	13件
夜景づくり部門	17件
街づくり提案部門	34件

合計 226件



選考課程

写真選考 平成24年(2012年)7月31日(火)
現地視察 平成24年(2012年)8月9日(木)
最終選考 平成24年(2012年)8月28日(火)

表彰式

平成24年(2012年)11月21日(水)

選考委員

委員長	杉本 俊多
委員	及川 久男
	柳 幸典
	清田 誠良
	山田 知子
	毛利 葉
	国野 友子
	玉田 陽子
	上楯 輝之
	松岡 美栄





13th URBAN DESIGN AWARD HIROSHIMA

広島市都市整備局都市計画課都市デザイン係

〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目6番34号

TEL : 082-504-2277 FAX : 082-504-2512

Eメール : urban-d@city.hiroshima.jp

URL : 広島市ホームページ

<http://www.city.hiroshima.lg.jp>

▼
事業者

▼
都市計画・都市デザイン

▼
都市デザイン

▼
ひろしま街づくりデザイン賞